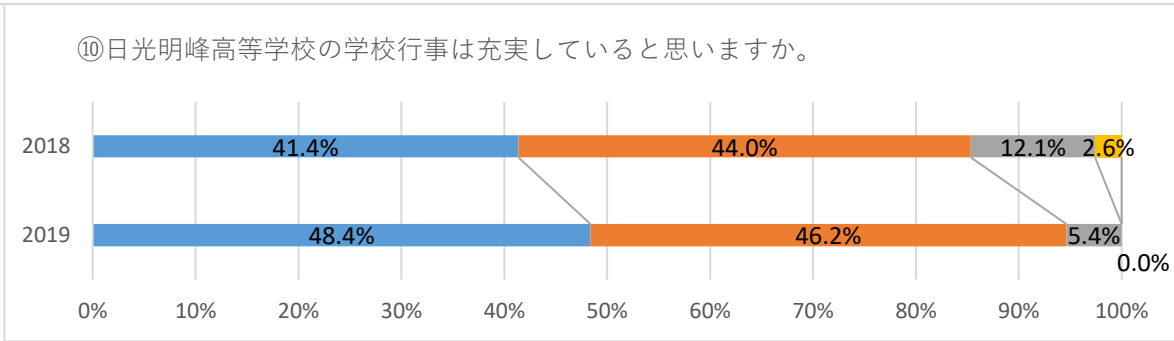
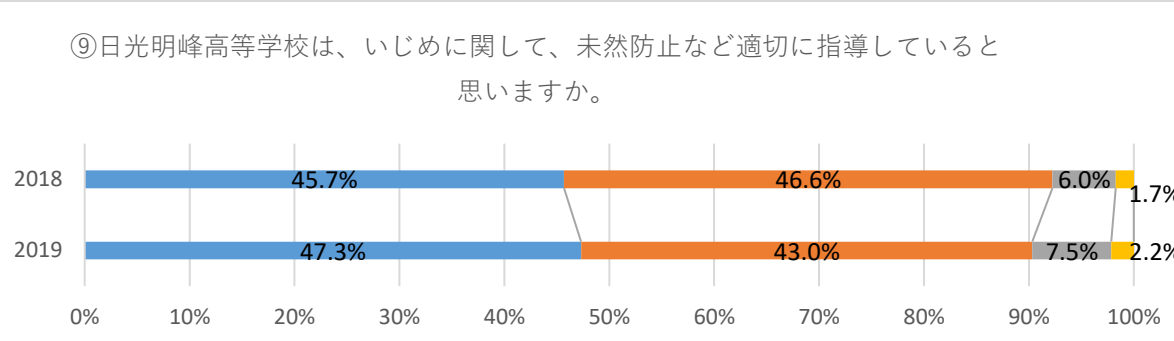
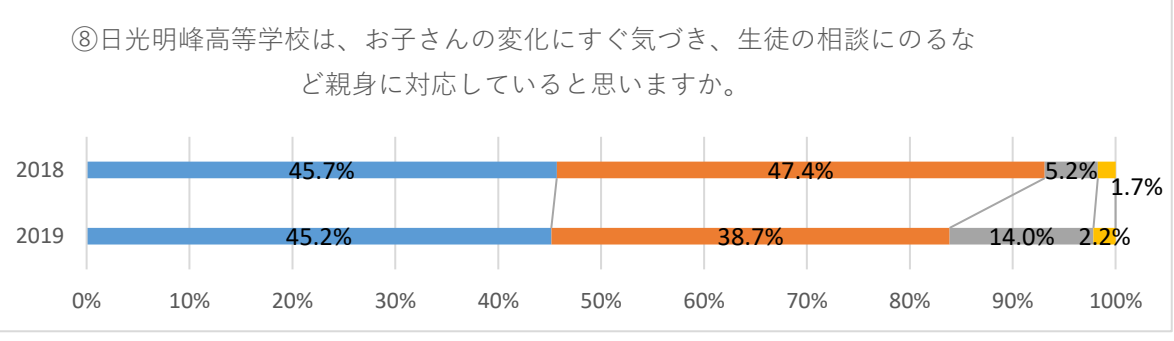
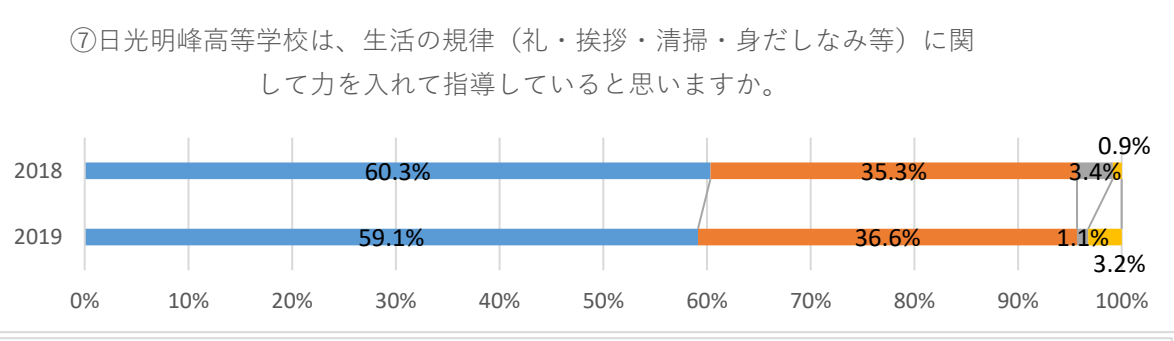
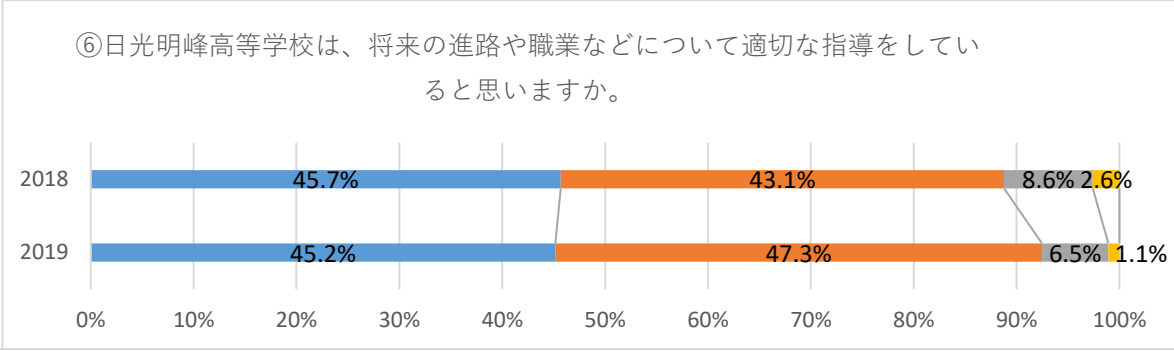
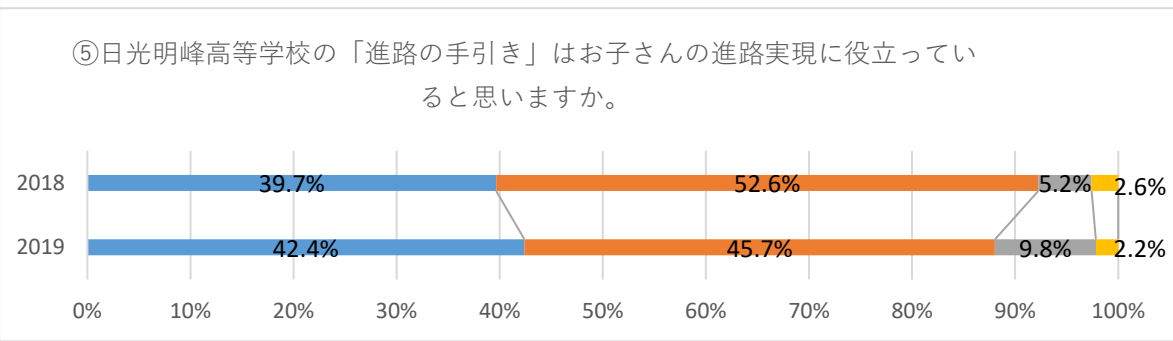
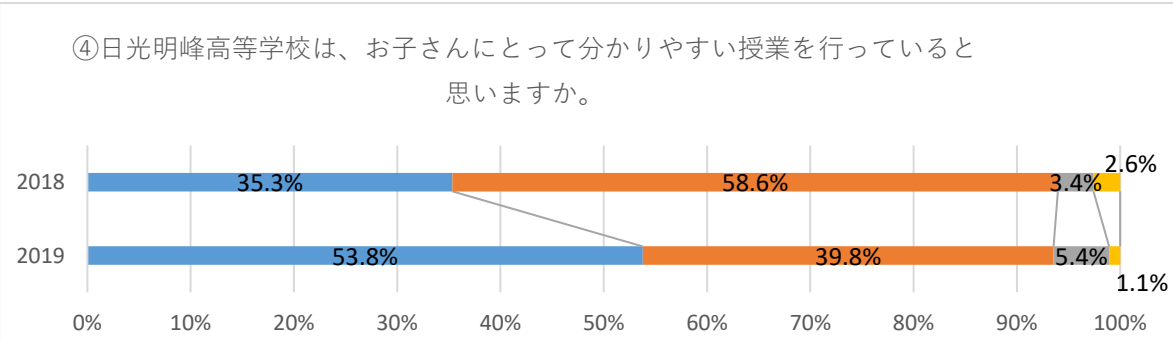
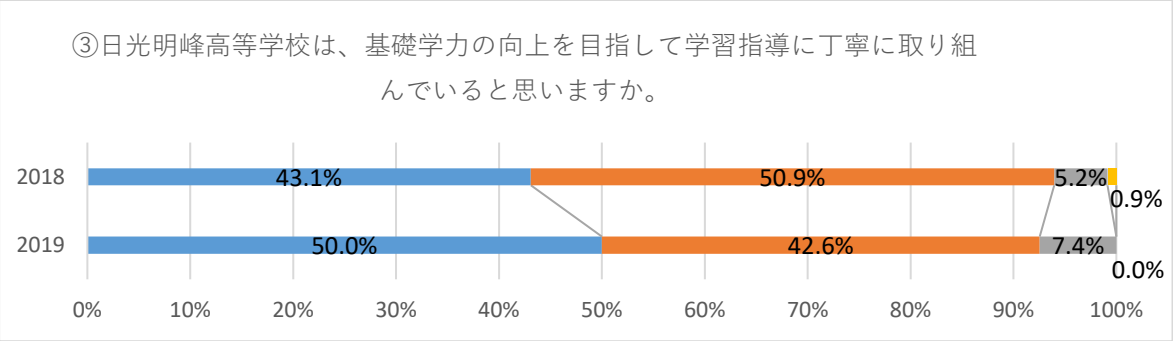
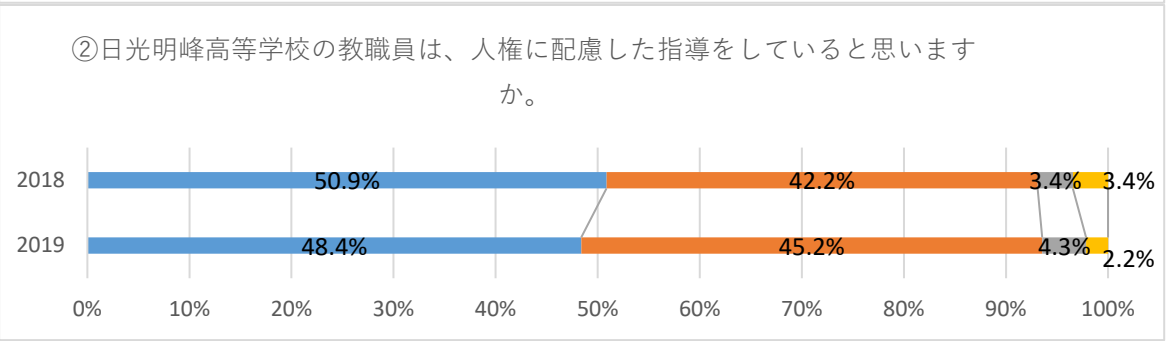
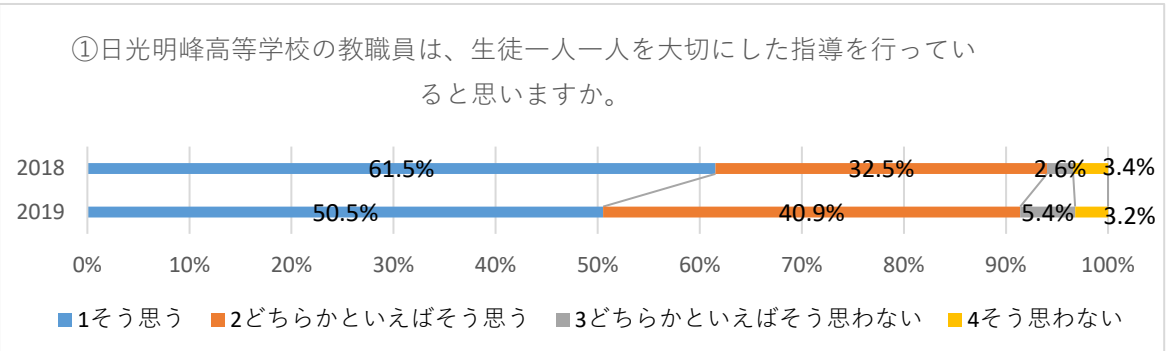
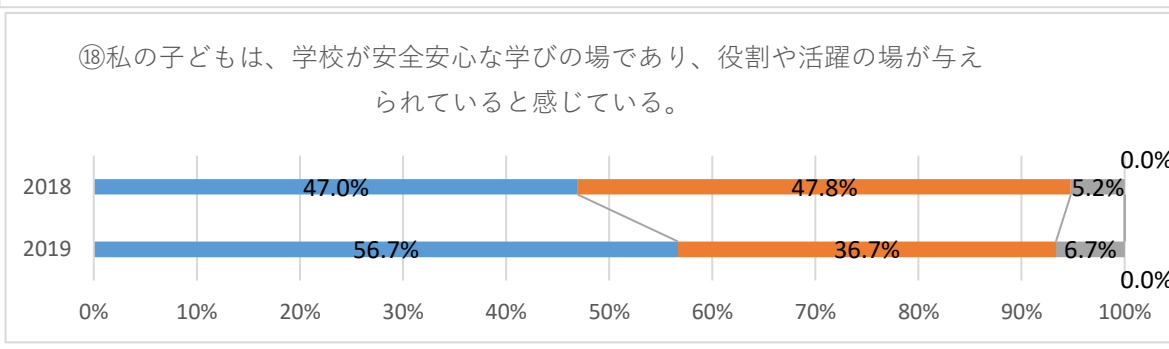
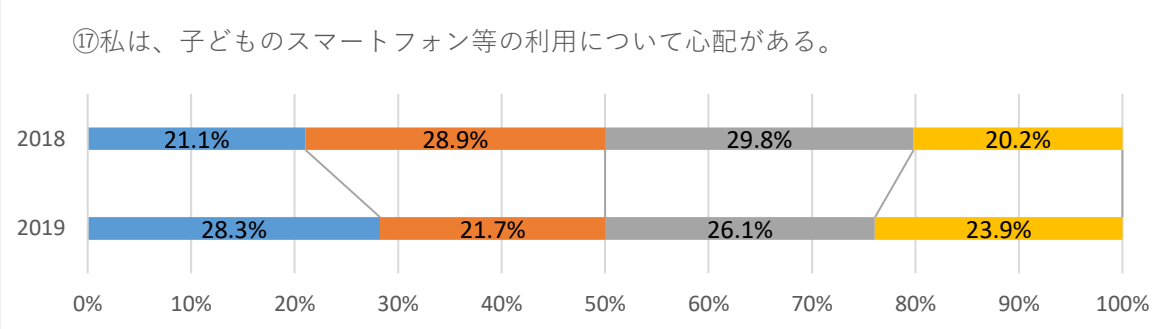
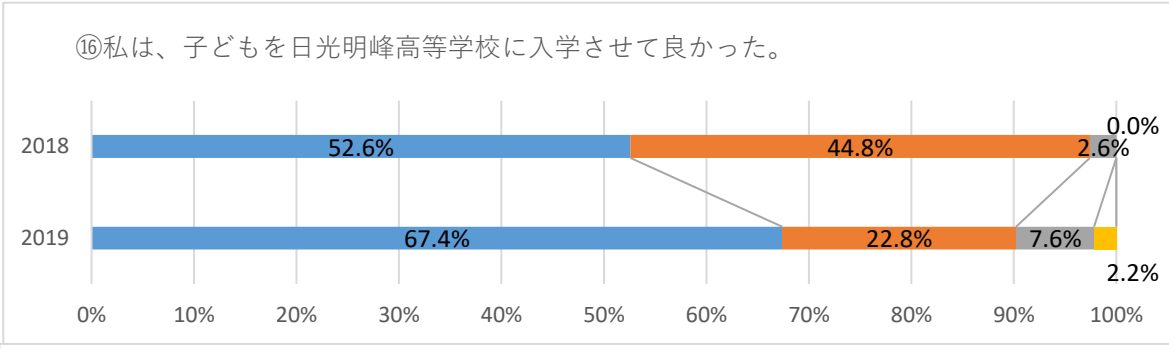
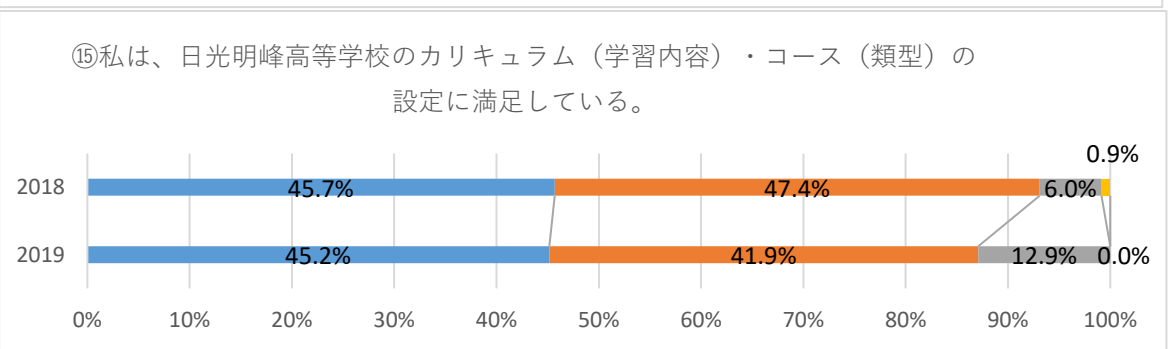
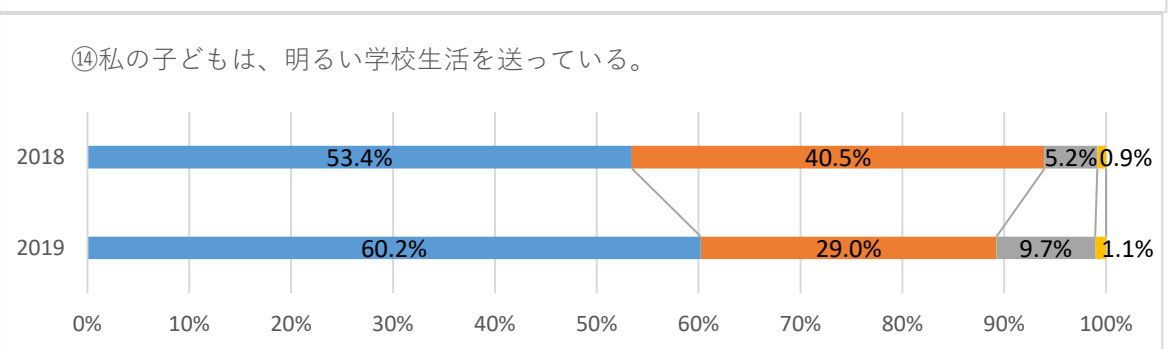
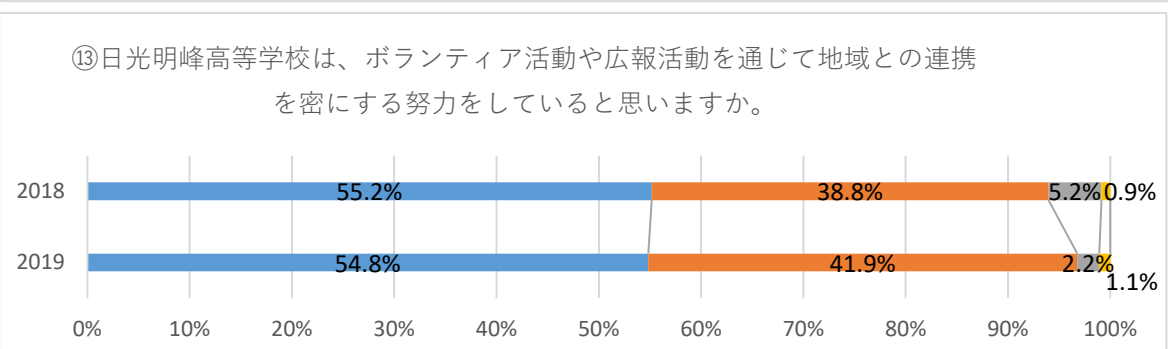
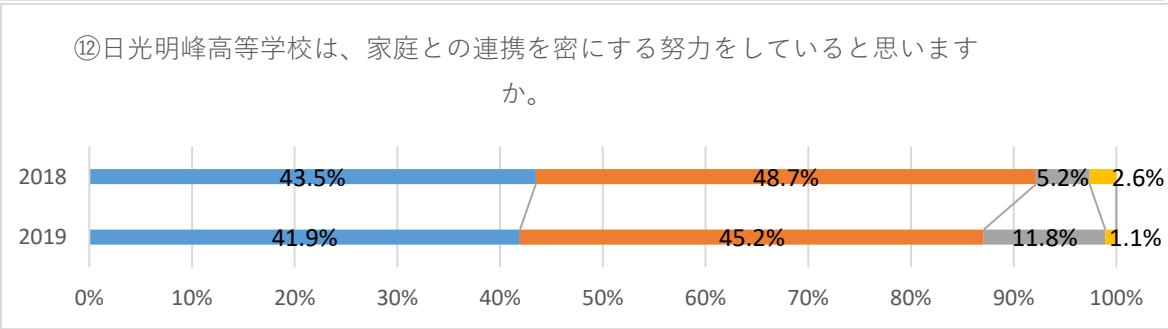
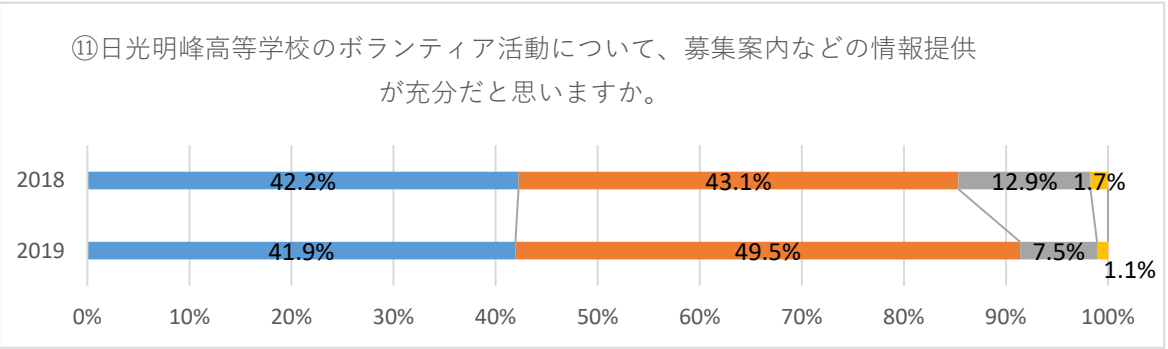






【結果分析】

アンケートの質問に対して、全体的に高い評価をいただくことができました。どの質問にも8割以上の保護者の皆様がポジティブな回答をくださいました。ただし、昨年度と比べるとその割合が下がっている項目が10件（①③⑤⑧⑨⑫⑭⑮⑯⑱）あります。

評価が相対的に低くなった項目は、⑧「お子さんの変化にすぐ気づき、生徒の相談にのるなど親身に対応しているか」、⑫「家庭との連携を密にする努力をしているか」といった、生徒および家庭との学校の関わりについて問う項目であったので、教員は生徒の様子をより頻繁に、より敏感に観察し、保護者とはより密に連携をとる努力をする必要があります。この⑫の低さが、昨年度と比較してより好評となった生徒アンケートと、横ばいから低下も見せた保護者アンケートとの差の一つの原因かもしれません。

ポジティブな回答が得られた項目のうち、以下の4項目で「そうは思わない」の回答がゼロでした。③「学力向上を目指した丁寧な学習指導」、⑩「学校行事は充実しているか」、⑮「カリキュラムとコースの設定」、⑱「学校が安全安心な学びの場であり、役割や活躍の場が与えられていると感じるか」の4点で、このことは、基礎的・基本的な知識と技能の習得、居場所と役割の確保、自己有用感の育成を学校経営方針の今年度の重点施策に合致しており、喜ばしい結果です。特に⑱は昨年度もゼロでした。また⑩「学校行事の充実」については、昨年度はネガティブな回答が比較的多かったので、今年度になって改善が見られました。明峰祭の一般公開が印象を最も改善させた原因かと思われます。以上の高評価が続くよう、また今後「どちらかといえばそうは思わない」の回答がなくなるよう、尽力いたします。

一方で、⑯「子どもを入学させてよかった」の「そうは思わない」は昨年度ゼロでしたが、今回はゼロではありませんでした。ネガティブな回答数が昨年度3名から本年度9名と増加しています。⑭「子どもは明るい学校生活を送っている」のネガティブ割合上昇も気になります。この結果を真摯に受け止め、保護者の皆様からすべての項目でポジティブな回答をいただくことができるよう、今後とも気を引き締め、より良い学校にするため教職員一同努力して参ります。保護者の皆様、お忙しい中アンケートのご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。